

議 事 録

議 題	令和2年度東京都管工事工業協同組合及び三多摩管工事協同組合との意見交換会	
日 時	令和2年11月17日(水)13:00～14:30	
場 所	都庁第二本庁舎13階局議室	
出 席 者	東京都管工事工業協同組合	5名
	三多摩管工事協同組合	4名
	東京都住宅政策本部	7名
配布資料	遠隔施工管理のイメージ図・装置構成図	

議 事 内 容

1 挨拶・自己紹介

2 意見交換会の主な内容

(1) 建設業の働き方改革について

ア 女性技術者の活用

【東京都管工事工業協同組合】

- ・女性社員の募集は行っているが、若年女性は休日確保を重視する傾向にあるため、採用が難しい。
- ・女性社員の多くは、CAD作業などの内勤業務に従事しており、工事現場業務は少ない。
- ・中小企業としては、産休、育休等の代替要員の確保が難しい。

【三多摩管工事協同組合】

- ・当組合も、同様な状況である。
- ・会社に女性技術者はいるが、現場はシャワーや更衣室等の施設が整っていないため、現場に行きたがらない。

《東京都》

- ・女性技術者が少ないことは理解している。受注者希望型の女性活躍モデル工事を通じて、建設業における女性活躍をバックアップしていく必要があると考えている。

イ 若手技術者の活用及び技術者の高齢化

【東京都管工事工業協同組合】

- ・都営住宅工事は発注図が詳細に記述されており、若手育成として良い現場となっている。
- ・建設業は昔程ではないもののまだまだイメージが良くないので、若手の採用を増やしていくためには、イメージの改善が必要。

【三多摩管工事協同組合】

- ・若手は給料よりも休暇を重視する。休日の確保は建設業界全体として取り組まなければならない。
- ・一方、ベテランには休日の増加により収入が減少することを嫌う意見もある。
- ・ベテラン技術者は、現場のノウハウを十分持っている。少子高齢化社会においては、ベテラン技術者を若手の補佐などとして配置した場合、加点するなどの仕組みも検討してほしい。
- ・建設業は離職率が高いので、正規雇用で複数年在籍した者は総じて技術力が高い。これを評価する仕組みがあっても良いと考える。

《東京都》

・ベテラン技術者配置に対する加点評価は、若手技術者育成にもつながるか。

【三多摩管工事協同組合】

・ベテラン技術者の意欲向上により若手技術者の育成に寄与すると考える。

ウ 週休2日モデル工事

【東京都管工事工業協同組合】

・週休2日の達成は、主体建築工事の工程管理によるところが大きい。

・他工事の遅延により、週休2日が達成できなかった場合でも、ペナルティがあるのか。

《東京都》

・週休2日が未達成の場合は、設計変更により労務費補正分について減額変更となる。

【東京都管工事工業協同組合】

・工事終盤における工程の遅れについて、設備工事による工程調整を求められることが多い。

《東京都》

・現在、東部住宅建設事務所で施工中の足立区竹ノ塚七丁目第3工事では、設備工事にも配慮した全体工程を作成している。

・都住の標準工期では工期設定が厳しい案件もあったため、週休2日モデル工事では日本建設業連合会の建築工事適正工期算定プログラムを準用して余裕のある工期設定を行っている。また、週休2日を達成し易いよう、休日を土日に限定しない等の配慮も行っている。色々と課題もあるが、今年度は東部事務所で1件、西部事務所で1件、モデル工事を試行し検証していくので協力をお願いしたい。

【東京都管工事工業協同組合】

・土日の休工を確実なものとするため、土日休工である旨を現場で掲示し近隣に周知するなどの取組も良いと思う。

エ 書類削減

【三多摩管工事協同組合】

・現場代理人は、現場業務の後に膨大な写真の整理などの事務作業があり、負担が大きい。

・試験成績書は、住戸ごとに確認印欄があり、押印箇所が非常に多い。簡略化してほしい。

《東京都》

・国や都の書類削減やハンコレスの動きに合わせて本部も対応を検討していきたい。

(2) 遠隔施工管理(遠隔臨場)について

【三多摩管工事協同組合】

・現在、対面による定例会議の際に書類のやり取りも行っている。遠隔施工管理を実施するのであれば書類も電子データ化することを考えてほしい。

【東京都管工事工業協同組合】

・配布の装置構成図には、受注者のPC接続が無いように見える。ウイルス対策などの理由からなのか。

《東京都》

・最初期の段階ではセキュリティの観点から受注者のPCとの接続は行わない。ただし、Zoom 及び通常のインターネット回線を採用しているため、技術的には接続可能である。

・今後、遠隔施工管理の試行が進んでいく中で、受注者のPCとの接続を検討していく。

【東京都管工事工業協同組合】

- ・工事書類について、紙媒体による提出ということは変わらないのか。
- ・監督員が確認したところを検査員も確認するという二度手間になっているところは簡略化できないか。

《東京都》

- ・装置構成にクラウドサーバを含むので、将来的には電子データによる提出も検討する。
- ・監督員の確認と検査員の確認は意味合いが異なる。検査員は品質確認に加え、公金の支出に値するか、という視点で確認する。
- ・遠隔施工管理については、まず都の職員がTV会議に習熟することが必要。次のステップとして、工事現場における遠隔施工管理を試行していく。
- ・都においても、ベテランが減ってきて、全ての現場を若手と回り指導することができなくなっている。事務所でモニタを見ながら若手を遠隔指導するような使用方法も考えている。

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響について

《東京都》

- ・新型コロナウイルスについて工事現場における課題等はあるか。

【東京都管工事工業協同組合】

- ・現場で密になる可能性は多々ある。3密回避を行うことで、工程に遅延が生じてしまうため、これを取り戻すために残業や休日作業が発生している。
- ・一方で働き方改革を推進しなければならないというジレンマがある。

《東京都》

- ・都発注工事では「東京都における公共工事の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン」により対応している。民間工事ではどうか。公共工事と民間工事の違いはあるか。

【三多摩管工事協同組合】

- ・民間工事では、現場により対応は様々である。

《東京都》

- ・公共工事と民間工事でコロナの影響に違いはあるか。

【東京都管工事工業協同組合】

- ・民間工事は需要が非常に冷え込んでいる。
- ・公共工事は定期的に発注がある。

《東京都》

- ・コロナ以前の水準で都営住宅建替工事を発注した場合、受注可能か。

【三多摩管工事協同組合】

- ・受注できる。ただし、同一時期に同一場所で多数発注された場合は受注できないこともある。

(4) その他(外国人労働者の活用)

【東京都管工事工業協同組合】

- ・少子高齢化による人手不足の社会の中、外国人労働者の存在は大きい。東京都でも特定技能を有する外国人労働者活用のガイドライン等があると良いのではないか。

【三多摩管工事協同組合】

- ・外国人労働者活用のガイドラインは国が定めている。
- ・設備業界でも外国人技能実習生の活用が進んでいる。
- ・通常は3年で在留資格が切れるが、資格を取得することで延長が認められる。

それでも最終的には帰国することになる。

- ・国の制度の問題ではあるが、都も外国人労働者活用のための検討をしてほしい。

《東京都》

- ・数年前、工事現場において日本語がわからないことによる外国人労働者の事故が多発した時期があった。
- ・現在都では、数か国語で危険を知らせる表記を推奨するなどの取組も行っている。